

【専門教育科目/看護の統合と発展】

達成度評価							
総合評価割合 (%)		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	合計
		60	0	0	30	0	100
総合力指標	知識・技術力	40	0	0	0	0	40
	思考・推論・創造する力	10	0	0	10	0	20
	協調性・リーダーシップ	0	0	0	0	0	0
	発表・表現伝達する力	0	0	0	0	0	0
	コミュニケーション力	0	0	0	0	0	0
	取組みの姿勢・意欲	0	0	0	10	10	20
	問題を発見・解決する力	10	0	0	10	0	20
評価のポイント						フィードバックの方法	
評価方法	行動目標	評価の実施方法と注意点					
試験	①	✓	筆記試験とする。看護師国家試験を同じレベルの試験とする。				メールで回答の解説を送付する。
	②	✓					
	③	✓					
	④	✓					
	⑤	✓					
	⑥						
レポート	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
成果発表	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
ポートフォリオ	①	✓	ワークシートをまとめ、ポートフォリオにできる。記録物等適切な収集・整理ができる。				11回講義で説明する。
	②	✓					
	③	✓					
	④	✓					
	⑤	✓					
	⑥						
その他	①	✓	日々の受講態度等を総合的に評価する。				問題が生じた場合は、個別に面接を行う。
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
備 考							
他 担 当 教 員	山崎洋子、堀口まり子						
教 員 の 実 務 経 験	伊丹：35年の県および市町村の行政保健師経験があり、災害時の計画の作成及び対応や数回の県外災害派遣を経験している。山崎：保健師として保健所、市町村に10年勤務、また大学病院の医療連携室での退院調整や療養生活相談等に勤務した経験を有する。堀口：看護師として、病院において災害看護を経験を有する。						
実 践 的 授 業 の 内 容	保健所・市町村における行政保健師活動、災害援助活動および訪問看護活動等の実務経験を元にして、内容を構築し、災害看護について理解を深める。教員の経験からさまざまな事例を取り上げ、教科書と比較しながら学習および演習を行う。						
そ の 他	<ul style="list-style-type: none"> ・ 毎回講義に出席し、積極的な態度で授業に臨むことを重んじる。原則として理由のない欠席はしないよう心がけること。 ・ 学生の理解度に応じ、講義の速度や順番を調整する可能性がある。 ・ 大学から示されている感染対策および教員が示す授業方法を遵守すること。問題がある場合は面接授業の参加は認めない。 ・ Teams を使った同双方向型授業も実施する可能性があるため、通信容量無制限の Wifi 環境を推奨する。 ・ 今後の新型コロナウイルス感染症の状況など社会情勢により、再度シラバス内容が変更となる可能性がある。 						